

# アートプロジェクト

## 対話の対話による対話のための旗（仮）

市民同士の対話の痕跡で旗を立てるプロジェクト。

ワークショップではそこで出会った人同士が千葉の現在や未来について自由に語り合う。ただし話す際は布やハンカチ等に「落書き」をしながら話す。ここで描かれた「落書き」は会話の中で面白いと思ったことのメモかもしれないし、相手に何かを伝えるための図やイメージかもしれない。そうやって布に残された「落書き」＝「会話の痕跡」をアーティストがつなぎ合わせることでそれは旗となる。

対話のワークショップは千葉の各所にて行われ、それぞれの場所で話し合われた千葉の現在・未来は、それぞれの場所で旗として掲げられる。

来場者は、本会期中に各所に立てられた旗を巡ることで、様々な場所における様々な「千葉」とそこでの「対話」を目にする。旗がもたらす人の循環と「千葉」の発見は、千葉市における新たな出会いとさらなる対話へとつながっていく。

### 前島 悠太

2002年神奈川県生まれ。2024年早稲田大学建築学科退学。2025年東京藝術大学油画専攻在籍。領域を横断しつつ、現在は主にコミュニケーションを題材にした作品やプロジェクトを展開。主な作品に、他者との会話の痕跡を記した旗を屋上に掲げる《対話について》などがある。

市民参加のかたち：ワークショップ・展示鑑賞

